

名家連ニュース

令和3年11月11日(木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.834号

◆◆令和3年度10月家族SST講座 報告◆◆

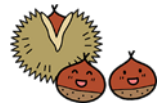
令和3年10月23日(土)家族SST講座を、宣言解除になり2ヶ月ぶりに名古屋市北区総合福祉会館 7階中会議室で開催しました。吉田先生と久しぶりに参加のケースワーカー中村さんと共に参加は合わせて20人でした。初めて参加された方は2人みえました。

まず、①自分にとって『秋といえば…』と②最近の私(家族)の出だしで一人ずつ自己紹介をしていきました。ほっこりしたのは、「運動」「片付け」「美術」の他圧倒的に「食欲の秋」が多く、しかも「栗きんとん」が何回も聞かれた事でした。

・2年一人暮らしができていた息子にやはり働いてほしいと本音が出る。

・手伝ってやろうかみたいな子供扱的な言い方になるかなと反省する父。

・コロナで外に出るのが怖く、歩かなくなって心配。等々、近況を出し合って小休憩した後、初参加者の「なかなか医療に繋がらない本人になんと声をかけたらよいのか？」という悩みを中心に、我が事のように意見を活発に出し合い、気づくと終了時刻を過ぎていました。吉田先生より、ここで話し合ったことは他では話さないこと、続きを是非次回に繋げていきましょうと締め括られ終了しました。家族会ならではの役割を感じる研修でした。(担当 熊谷)



◆◆第31回「晴れときどき虹」報告◆◆

恒例の「晴れときどき虹」を、10月31日(日)鯉城ホールで開催しました。関係者を除いた会場参加者は103名、Zoomによるオンライン参加者は42名でした。

今年のオープニングは、福光倫太郎さんと民谷美緒さんによるホルンとピアノのミニコンサートでした。主催者を代表して、名家連の堀田会長と名古屋市の榊原主幹が挨拶しました。糸川昌成先生(東京都医学研究所 副所長)が「心の病とは何か」と題して、1時間半、リモートで講演を行い、その後30分ほど参加者との質疑応答を行いました。

現代精神医学は病気の原因が脳(モノ)にあると科学的に考える。間違っているとは言わないが、本当にそれだけだろうか。「生活臨床」(患者の具体的な生活・家庭環境を理解し、患者の願いを見つけ、その実現を支援するアプローチ。群馬大学で開発された手法。)の例から、コト(兄の尊厳)がモノ(脳のドーパミン過剰)に影響することがわかる。従って、統合失調症はコト(環境)の要素が強く関与するモノ(脳)の側面をもつ。不安や病はあってはならないものではない。更に、モノでもコトでもない部分があるかもしれない。そこは人間の回復にとっても重要な部分ではないかと考えている。というお話でした。

回収したアンケートの中には、ホルンとピアノの音色に癒されました。/生活臨床のお話が、とても印象深く、糸川先生の誠実な態度が素晴らしいと思いました等の感想がありました。

昨年、コロナのため中止したことを踏まえて、今年は何としても開催できるよう、会場、オンライン同時開催としました。しかしながら、具体的な実施方法を事前に参加者に伝えなかった点、Zoomでの不具合など、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びします。(実行委員 広瀬)